

くにみ 議会だより

KUNIMI

No.162

9月議会号



おとうさんと一緒だとはやく走れるよ

くにみ幼稚園の運動会。おとうさんと一緒にうれしい笑顔がはじけます。

9月定例会

庁舎建設と住宅除染を本格実施
平成25年度決算を認定 ————— P2

こんなことをやりました（25年度のおもな事業）—— P4
道の駅会社への出資金を決定（26年度補正予算）—— P8
一般質問（魅力ある農業づくりなど6人が登壇）—— P11
義経がつなぐさらなる交流（平泉町議会が来町）—— P18

発行●福島県国見町議会 編集●議会広報編集委員会 発行日●平成26年10月31日

〒969-1792 福島県伊達郡国見町藤田字観月台15 観月台文化センター内 TEL.024(585)3295 FAX.024(585)2181 <http://www.town.kunimi.fukushima.jp/>

一般会計歳出86億9841万円

庁舎建設と住宅除染を本格実施

9月議会定例会は9月9日から18日まで10日間の会期で開かれました。今定例会には、平成25年度決算認定やまちづくり会社（道の駅運営会社）への出資金などを含む補正予算、新庁舎議場の備品購入など30議案が提出され、すべて原案どおり認定、可決、同意しました。

一般質問では6人の議員が登壇し、11項目にわたって町政をただしました。



一般会計決算

平成25年度一般会計決算は、歳入総額93億4981万円（前年比37・4%増）、歳出総額86億9841万円（前年比42・0%増）となり、翌年度に繰り越す事業の財源を差し引いた実質収支額は2億9844万円（前年比44・6%減）の黒字決算となりました。

おもな要因は、庁舎建設事業の開始や除染事業（仮置き場整備や住宅・宅地の

歳入 93億4981万円

使用料・手数料
1億947万円 1.2%

町営住宅の使用料や戸籍事務の手数料など

繰入金・繰越金
11億4745万円 12.3%

貯金を下ろして使うもの、前年度残金の繰越金

町税
8億7526万円 9.3%

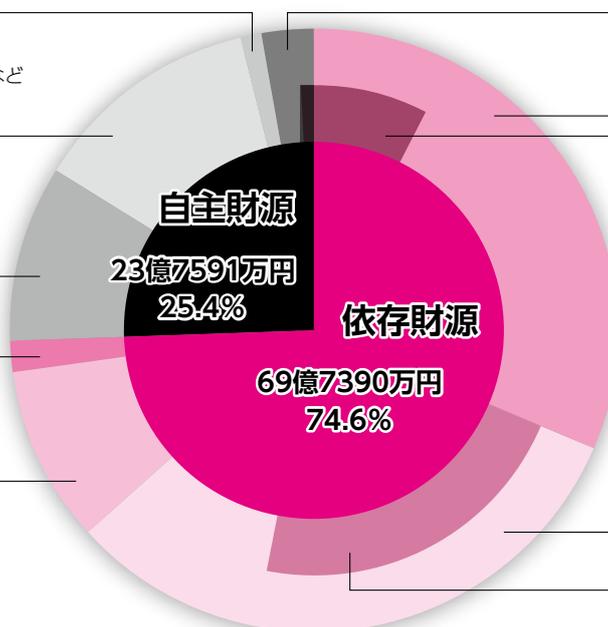
町民税、固定資産税、町たばこ税など

その他の依存財源
1億6578万円 1.8%

地方譲与税、地方消費税交付金など

町債（借金）
8億7761万円 9.4%

銀行などからの借入金



その他の自主財源
2億4643万円 2.6%

給食費や町税の延滞金など

地方交付税
29億5843万円 31.6%

町の収入でまかないきれない分を国が交付、再配分するもの

（うち災害復旧分）
7億7976万円 8.3%

国県支出金
29億7208万円 31.8%

国や県からの補助金

（うち除染対策分）
20億680万円 21.5%

■平成25年度特別会計決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額
公共下水道事業	3億9898万円	3億5738万円
国民健康保険	13億7003万円	12億9477万円
介護保険	9億9948万円	9億8805万円
後期高齢者医療	9896万円	9873万円
土地開発事業	2813万円	2588万円
湯水対策施設	670万円	642万円
山長育英財産管理	327万円	327万円
大木戸財産区	16万円	13万円
入山財産区	21万円	13万円

■平成25年度水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億6996万円	2億4900万円
資本的収支	3225万円	5602万円

資本的収支の不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。



たくさんの人が国見の復興を支えています
(新庁舎建設現場の朝の点検)

義務的経費(人件費など)は前年比1億3846万円増、投資的経費(災害復旧費など)は17億2246万円増、その他の経費(積立金など)は340万円増となりました。そのうち庁舎建設は13億308万円、原発災害対策は5億7997万円と大幅に増加しました。

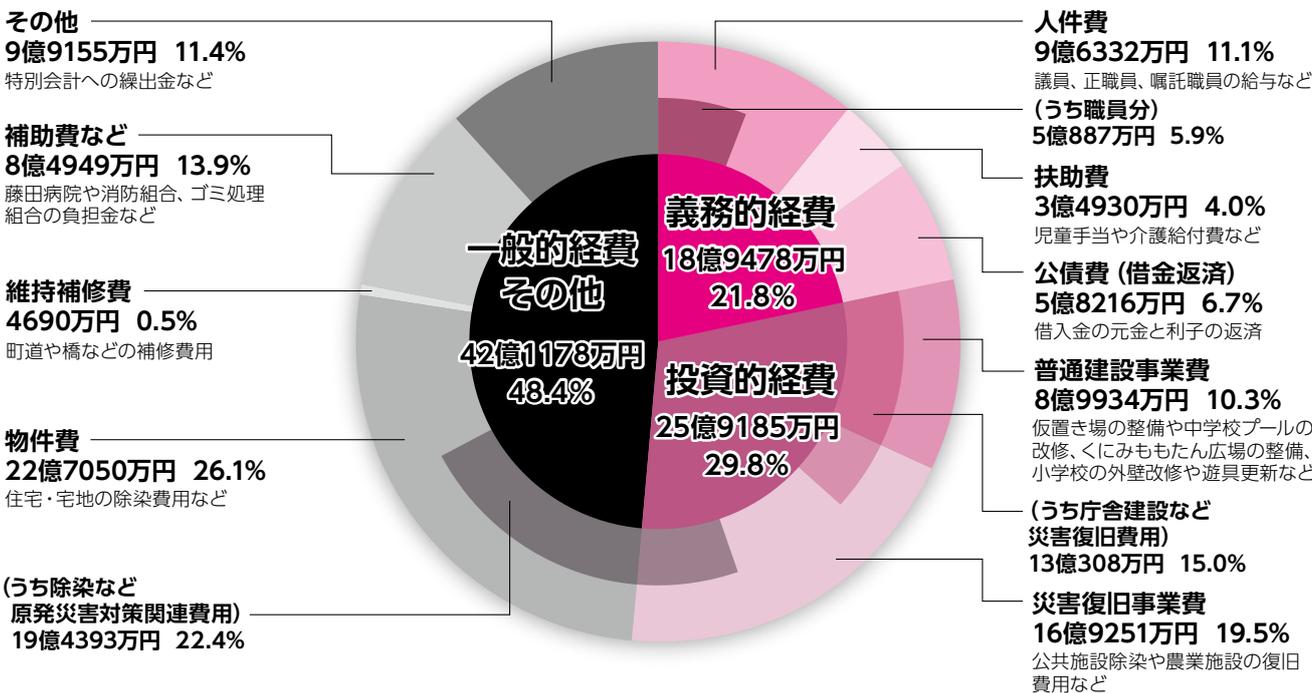
歳出

自主財源の中心となる町税は前年比373万円増となり、依存財源である地方交付税も庁舎建設による震災復興特別交付税の増加により前年比4億8253万円増となりました。

歳入

除染が本格化したことが挙げられます。今後も道の駅など大型事業が予定されているため、さらなる財源確保と歳出削減に努めなければなりません。

歳出 86億9841万円



復旧・復興・元気・活力のために

平成25年度

こんなことをやりました

仮置き場の整備と 住宅の除染



仮置き場を整備し、住宅や道路などを除染しました。

20億4679万円

役場新庁舎の 建設



東日本大震災で壊れた庁舎を26年度までの2年
で建て直します。

13億1505万円

中学校プールの 改修工事



老朽化したプールを新しくしました。

1億399万円

太陽光パネルの 設置工事



くみに幼稚園、藤田保育所、国見子どもクラブ
に太陽光パネルを設置しました。

8058万円

あんぽ柿加工再開 事業、果樹改植事業



あんぽ柿加工再開へ放射性物質を検査し、果樹
改植を実施しました。

4155万円

森林機能の 維持・増進



間伐や木材搬出、松くい虫防除などで森林の
整備を進めました。

5162万円

交流の場 (道の駅)の整備



交流の場(道の駅)の基本設計や予定地の地質調査を実施しました。

4887万円

くにみもたん 広場の開設



森江野町民センター体育館に開設し、今年7月には入場3万人を達成しました。

5084万円

国見小学校の 整備改修工事



校庭の遊具を新しくし、校舎の外壁やベランダなどを修理しました。

6709万円

まちづくり 推進事業



義経まつりや阿津賀志山ビッグツリー、イルミネーション、キャンドルパーティーなどを実施しました。

1991万円

国見子ども クラブの運営



旧藤田幼稚園に場所を移し、対象を全学年に拡大しました。

1830万円

高齢者の支援や 健康づくり事業



震災で休止していた生きがいデイサービスを再開し、敬老会やいきいきサロンを実施しました。

1177万円

除雪業務 委託事業



町内建設業者などに委託し、道路の除雪を実施しました。

1077万円

女性100人 応援団ツアー



首都圏の女性モニター100人を招待し、国見町のよさを地元女性に再認識してもらいました。

920万円

平成25年度決算認定

平成25年度各会計決算認定は、一般会計ほか11件すべてを原案どおり全員賛成で認定しました。おもな質疑は次のとおりです。

質疑

借金増だが

今後の町政運営は

問

(浅野富男議員)
町債(借金)が昨年より増えているが、町の人口

■ 町債(借金)の年度末現在高

会計名	平成25年度	平成24年度
一般会計	54億7872万円	51億875万円
下水道	17億7348万円	18億1483万円
水道	2億9233万円	3億42万円
合計	75億4453万円	72億2400万円

■ おもな基金(貯金)の年度末現在高

基金名	平成25年度	平成24年度
財政調整基金	8億3071万円	9億6332万円
東日本大震災復興(支援)交付金基金	1億5920万円	2億6422万円
ふれあい福祉基金	1億5197万円	1億5197万円

が減る中で今後の町政運営はどうするのか。

町長

歳入と歳出の差額から翌年度に繰り越す金額を引いた実質収支は約3億円の黒字、公債費率、経営比率も改善している。

しかし、役場庁舎や道の駅建設があるため、国県補助金を最大限利用し、負担を残さないように進めたい。

家賃滞納者には 厳しい対応を

問

(阿部泰蔵議員)
町営住宅家賃の滞

納が1125万円もあり、長期化、高額化している。本人の所得や連帯保証人は確認しているのか。

建設課長

入居時にそれぞれの所得を調査している。昨年からは滞納解消を

目的に調停や訴訟を実施している。今後は連帯保証人の確認も含め厳しく審査していきたい。

地区集会所も

避難所としては

問

(村上晴夫議員)
東日本大震災のとき、中央集会所などだけでは避難所が不足した。地区集会所も活用しては。



新築された川内集会所を
議会で調査

課 住民生活

防災計画の見直しを含め、避難所の検討を進めていきたい。

デマンドタクシー

の継続は

問

(村上晴夫議員)
デマンドタクシーは赤字分約800万円を補助金で補てんしている。今後はどうするのか。

課 企画情報

高齢者の利用は1万8720人で前年比1088人増。利用者の満足度もバスに比べて高い。今後も継続すべきと考える。

桜植樹の目的と

活用方法は

問

(松浦常雄議員)
造林事業費1100万円で光明寺地区と内谷地区に山桜を植えているが、その面積と本数は、

課 産業振興

光明寺地区は、荒れた山林の整理と再生を目的に約7畝、

430本を植樹。内谷地区は耕作放棄地の山林化を目的に1・89畝、4700本を植樹した。

問

(渡辺勝弘議員)
植樹した山桜の管理とその活用方法は。

課 産業振興

光明寺地区は、今後、地元と協議する。内谷地区は、補助事業を利用し、手入れをしたい。

活用方法は、植樹目的が違うため、生育後に検討したい。

道路巡視員

設置の成果は

問

(渋谷福重議員)
道路施設巡視員報酬187万円の内容と成果は。

課 建設

道路パトロールと道路の草刈りや側溝の泥上げ、路面の修復など。道路の危険箇所などを発見し、すぐに対応できるようになった。

決算審査報告

監査委員 佐藤 徳正、佐藤 定男

各会計の決算書が関係法令に準拠しているか、財政運営が適正かを主眼として審査をしました。

その結果、各会計とも黒字であり、計画的な財政執行による収支の均衡と健全な財政運営が行われていました。

また、健全化判断比率、資金不足比率審査は、その算定と基礎となる書類が適正に作成されているかを主眼として実施しました。



審査結果を報告する
佐藤徳正代表監査委員

その結果、いずれも適正に行われていました。

健全化判断比率は、実質公債費比率、将来負担比率とも前年より下がり、早期健全化基準を下回っているため、良好です。

公営企業の経営状況は、水道事業会計、下水道事業特別会計、土地開発事業特別会計のいずれも資金不足はありません。(抜粋)

街路灯LED化の効果は

問

(志村良男議員)

国見ニュータウンの街路灯をLEDにして電気料金は改善されたのか。

建設課長

LEDの電気料金は年額8万円程度だが、以前のソーラー街路灯

は、老朽化のため修理に年間200万円もかかっていたため、かなり改善された。

老朽町営住宅からの転居は可能か

問

(阿部泰藏議員)

老朽化した町営住宅の入居者にほかの町営住宅へ転居してもらうことは

できないのか。

建設課長

町営住宅は国の補助基準に基づき家賃を算定するため、新しい住宅では家賃が高くなり住みかえは難しい。

仮設入居者の町営住宅入居は可能か

問

(阿部泰藏議員)

仮設住宅の入居者は町営住宅に転居できないのか。

建設課長

希望者はいるが、家賃が負担増となるため入居が進まない。

防火水槽と消火栓の設置推進を

問

(村上正勝議員)

防火水槽の要望は多いが、設置が進まない。安価な消火栓の設置に変更できるのか。

住民生活課長

消火栓の設置費用は安いが水利を考えるとすべてを消火栓にはできない。

未納者には給水停止も必要では

問

(阿部泰藏議員)

水道使用料の未納者には給水停止が効果的である。何か月滞納すると給水停止にするのか。

上下水道課長

半年程度の滞納を目安に給水停止を判断している。

*有収率低下はなぜか

問

(村上晴夫議員)

有収率が前年比が2ポイントも悪化しているが。

上下水道課長

統合した旧簡易水道組合の古い給水管の入れ替えが進まないため。

保健福祉課長

47世帯に短期保険証を交付している。

問

(阿部泰藏議員)

国保税の未納者には保険証の返還を求め、有効期限の短い保険証が発行できるが、該当者は何人いるのか。

※有収率とは
給水する水量と料金収入があった水量の比率。
この率が低下すると漏水などが考えられる。

健全化判断比率 (%)

区分	25年度(24年度)	早期健全化基準
実質赤字比率※1	赤字なし(〃)	15.00
連結実質赤字比率※2	赤字なし(〃)	20.00
実質公債費比率※3	10.0(11.1)	25.00
将来負担比率※4	77.4(78.3)	350.00

※1 一般会計と公営事業を除く特別会計の赤字割合

※2 公営事業を含む全会計の赤字額の合計割合

※3 収入に対する負債返済の割合

※4 将来支払う見込みの負債割合

道の駅会社への出資金を決定

12月までに管理運営会社を設立

平成26年度補正予算のうち、一般会計(第2号)は7億6180万円を増額し、予算総額139億3312万円とすることを全賛賛成で可決しました。

おもな内容は、仮置き場整備4億6580万円やまちづくり会社(道の駅)への出資金5000万円などで、その財源は国・県からの補助金などでまかさないです。

平成26年度一般会計補正予算(第2号)のおもな内容

【おもな事業】

仮置き場整備工事	4億6580万円
県北浄化センター賠償金の基金(貯金)積立	1億5000万円
まちづくり会社(道の駅)への出資金	5000万円
人事異動などによる人件費の不足分	3532万円
町営住宅修繕工事	1440万円
桃せん孔細菌病の防除費用の追加補助	200万円
災害用機材(テント、リヤカー)の購入	119万円
子どもの木育イベント開催費用	102万円
その他(町道、林道、水路の修繕など)	4207万円
計	7億6180万円

【おもな財源】

地方交付税	3265万円
国・県からの補助金	4億7577万円
東京電力からの賠償金	1億5000万円
前年度からの繰越金	7373万円
町債(林道災害復旧工事のための借金)	360万円
その他(特別会計繰入金、前年度事業の収入など)	2605万円
計	7億6180万円

質疑

まちづくり会社 支援費とは

問

(松浦常雄議員)

まちづくり会社支援費5000万円の内容と積算の根拠は。

産業振興課長

道の駅の管理運営会社を12月

までに設立するための出資金。道の駅は平成28年度開業予定で、開業後5年間の赤字分を積算したものだ。

町長

道の駅と交流の場としての目的に合った運営会社を立ち上げたい。できるだけ赤字を出さないことが最重要課題になる。

道の駅支配人の選任は

問

(村上晴夫議員)

道の駅の成功には運営会社の支配人が重要になる。人選はどうするのか。

産業振興課長

支配人は公募し、経験がある

人を採用したい。また中心となる従業員は事前に町の任期付き職員として採用して準備を進める。

町長

人が大事なのでしっかりと選びたい。

道の駅の収入計画は

問

(東海林一樹議員)

まちづくり会社の収入計画の内容は。

産業振興課長

果物を活用したジュース、

カットフルーツなどの販売、農産物の注文販売、大型遊具を備えた子どもの一時的預かり所、お母さん同士の情報交換の場となる喫茶スペース、宿泊できる研修

室などを見込んでいます。

道の駅出荷組合の設立は

問

(村上晴夫議員)

道の駅に農産物を出荷する組合はどうするのか。

産業振興課長

出荷希望のある農家を中心に

出荷組合の設立や農産物の種類を検討している。また商工会を中心に出荷や商品販売などを協議している。

人件費増の理由と職員の健康管理は

問

(村上晴夫議員)

人件費の増額理由は。また、震災対応などでは業務量が増えているが職員の健康管理は大丈夫なのか。

町長

元気活力事業など業務が多く、職員を増やして対応しているため。健康管理は業務の大変さを共有して乗り切りたい。



子育て世代の情報交換(森江野町民センターでのママカフェ)

除染の進み具合は

問

(渡辺勝弘議員)

3年間で全戸を除染する計画だが、その期間の半分を過ぎた。除染は予定どおり進んでいるのか。

原発災害対策課長 住宅・宅地の除染は、これまでの2か年の合計目標数2500戸のうち、8月末で1378戸が終了。今年度は月平均165戸の割合で進んでいる。

子どもの木育イベントを開催

問

(松浦常雄議員)

観光力づくり事業102万円の内容は。

産業振興課長 東京おもちゃ美術館に依頼し、子どもたちに木を題材にした木育イベントを11月に開催するもの。

リヤカー購入の理由は

問

(渡辺勝弘議員)

災害対策費の備品購入費119万円の中で、今の時代にリヤカーを購入する理由は。

住民生活課長 災害時には車イス、簡易タンカ、リヤカーが有効だったとい

う意見があり、各地区から要望が出されたため。

町営住宅の訴訟は何件か

問

(阿部泰藏議員)

住宅管理費の調停業務委託料50万円は、何件の調停や訴訟を想定しているのか。

建設課長 検討中のものを含め5件程度。家賃の回収は民法の適用となる。弁護士との協力によりできるだけ回収したい。

人

事

教育委員に

志村裕美氏を再任

教育委員の任期満了により、委員に志村裕美氏(高城)の再任に同意しました。任期は平成30年9月30日までの4年。

条例その他

賠償金を復興基金(貯金)に積み立て

復興基金の設置、管理及び処分に関する条例制定

(要旨) 東京電力からの賠償金1億5000万円を町の復興や県北浄化センターの周辺対策に使うため基金(貯金)に積み立てるもの。(全員賛成で可決)

新議場の備品購入を決定

動産の取得

(要旨) 新庁舎議場の机やイスなど備品一式を1296万円で「株式会社天童木工(山形県天童市)」から購入するもの。(全員賛成で可決)

小坂と大木戸の仮置き場整備を決定

工事請負契約

(要旨) 新内谷地内の小坂方部2号仮置き場は、9828万円、「有会社」近久工業(石母田)と、大木戸字大久保地内の大木戸方部3号仮置き場は、1億368万円、「有会社」佐久間工業(森山)と契約するもの。(全員賛成で可決)

新たな固定資産評価審査委員に
渋谷和洋氏を選任

固定資産評価審査委員の任期満了により、渋谷和洋氏(高城)の選任と菅野俊光氏(内谷)の再任に同意しました。任期は平成28年9月30日までの2年。

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復旧・復興

- 住宅・宅地の除染は、平成25年度分をほぼ完了し、平成26年度分も順調に進んでいる。仮置き場は10箇所を確保し、整備工事や除去土壌などの搬入を進めている。
- ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は高校生以下の検査が終了し、希望者の検査を実施中。
- ガラスバジによる外部被ばく検査は、中学生以下と希望者の検査を実施中。
- 県が実施する甲状腺検査は、事故当時の高校生以下を対象に11月中旬に実施予定。
- 平成26年産米の全量全袋検査は、放射性セシウムの吸収抑制対策に取り組み、国の基準を超える米は検出されないものと期待している。
- 地域間交流やトップセールスとして、7月から町特産のモモ販売を中心にミスピーチやモモ農家の青年と一緒に東京都や北海道、岐阜県、千葉県などで宣伝した。
- 国見町応援団事業は、8月に風評被害対策として中尊寺ハスの見学やモモ狩りなどを実施。参加者には国見町の応援団として支援と協力をお願いした。

■安全安心なまちづくり

- 地区ごとの防災訓練を10月19日（日）に実施。
- 今年2月の豪雪時、役場が国道4号線で渋滞した運転手などに支援物資や避難所を提供した活動に対し、国土交通省から表彰された。

■活力あるまちづくり

- （仮称）里まち文化ステーション（道の駅）は、都市計画変更が完了し、用地取得を協議中。

■町の継続的な維持発展

- 少子化対策は、8月に有識者や若者世代10人で少子化対策協議会を設置。年度末までに提言をまとめてもらう予定。
- 7月に個人県民税の収納優良町として昨年に続き県知事から感謝状を受けた。
- 地域住民と一緒に学校づくりを進めるために学校支援地域本部を立ち上げ、地域のボランティア延べ96人が学校教育を支援活動に参加。
- 夏季休業中、子どもたちを対象に「スイミング教室」や「平泉町との交流事業」などを実施。

意見書

9月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書

東日本大震災で被災した児童、生徒への就学支援事業を平成27年度以降も継続できるように、特例交付金制度の継続と必要な財政措置を求めるもの。

可決

手話言語法（仮称）制定を求める意見書

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に示し、手話を言語として普及、研究するための環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」の制定を求めるもの。

可決

みなさんからの 請願・陳情

9月定例会では陳情3件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
「公共工事における賃金等確保条例」（公契約条例）の早期制定を求める陳情書	全建総連 福島建設ユニオン 執行委員長 宮地 明 福島県飯坂建設組合 組合長 加藤勝雄	不採択 (採択に賛成2〔志村、浅野〕、 採択に反対9)
採択に賛成	浅野 富男議員	労働環境を守り、工事の質を確保するには条例が必要であり、本陳情は採択すべき。
「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田政志	採択（全員賛成）
「手話言語法（仮称）制定を求める意見書」の提出を求める陳情書	一般社団法人 福島県聴覚障害者協会 会長 吉田正勝	採択（全員賛成）

～6人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

9月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議員	質問事項	ページ
村上 晴夫	若者が魅力を感じる農業づくりを	12
井砂 善榮	多発している米のカメムシ被害対策は	13
松浦 常雄	夏休み中の小学校プールの利用を増やせないか	14
	学校のトイレが臭い。改善せよ。	
	桃せん孔細菌病対策を急げ	
	あんぼ柿の検査体制は大丈夫か	
浅野 富男	イベントも重要だが生活に関連した事業を	15
	夏祭りに自衛隊車両があったが	
	応援団ツアーの恩恵を町全体に	
	中尊寺古代ハスをどう生かすのか	
佐藤 定男	心停止に有効なAEDをどう活用していくのか	16
渡辺 勝弘	ふるさと納税者に特産農産物贈呈の目的は	17

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

Q 若者が魅力を感じる農業づくりを

A 道の駅を活用し国見のブランド化をはかっていく



村上晴夫議員

額となった。現在の取組状況は。

産業振興課長 交付対象面積は約1

90畝で、農家の約3割が申請している。申請者数は昨年より約1割減っている。

問 米政策の見直しにより現在の減反政策はどうなるのか。

産業振興課長 平成30年産米からは、

国の需給見通しにそって生産者や集荷団体自らが生産調整をするようになる。

問 直接支払制度の改正内容は。

産業振興課長 地域共同による農地

や水路の草刈りなどの管理活動を支援する農地・水保全管理制度の項目や単価が拡充され、多面的機能支払制度と名称変更となった。

問 直接支払制度改正による影響は。

産業振興課長 平成20年度開始の徳

江地区は新制度に引き継がれる。その活動内容は同じだが、交付金は増額となる。なお、藤田、塚野目地区は今年度、光明寺、大枝、森山地区は来年度から交付を受ける予定。

問 国が進めている農業改革は米などの食糧生産が中心

だ。

この改革では、果樹が基本の本町農業を若者が職業の一つとして選択するような魅力ある農業にはできない。

本町の農業の将来像を聞く。

町長 町農業の維持発展には農家所得の向上が最重要課題

である。そのため大震災からの復旧・復興を

一つの契機に風評被害

対策やトップセールスに取り組み、国見ブランドの確立と現在進めている道の駅の中で付加価値を付け、自ら販売する農業への転換をめざしてブランド化の

進化をはかる。さらに

米だけでなく果樹に特化した国見農業のモデルをぜひ作っていきたい。

国が進めている4つの農業改革とは

問 新たに創設された農地中間管理機構の役割は。

産業振興課長 地域の担

手の農業者の経営規模は拡大した

が、農地が分散化し経営を圧迫している。この課題解決のため農地の貸し手に支援金を交付し、農地中間管理機構が農地を借り上げ、認定農業者に集団化し貸し付けるもの。

問 米の直接支払交付金は見直し

によって交付単価が半



県外セールスでブランド確立へ(岐阜県池田町)

Q 多発している米のカメムシ被害対策は

A まずは、県に被害対策を要望していく

問 カメムシによる米の昨年度の被害状況を聞く。

携し被害状況の把握につとめる。今後の対策を関係機関

産業振興課 課長

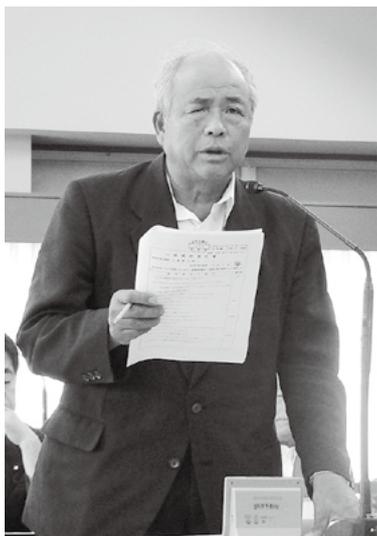
農協や県の普及所など専門指導機関では、カメムシによる被害発生から防除指導はしているが、詳細な被害調査は実施していない。今後、指導機関と連

問

ひとめぼれなどの早生種で被害が多発している。今後の対策は。

町長

まずは県に被害発生の原因究明と被害対策を要望し、その結果を踏まえ



井砂善榮議員



カメムシ被害米(右上)と原因とされるカメムシ(アカスジカスミカメ)(左下)

と連携しながら検討していく。

問

昭和54年から稼働しているライスセンターは改築の時期に来ている。施設の更新計画と合わせてカメムシ被害米

の対応をしようか。

産業振興課 課長

施設などの老朽化による利用効率低下から、町は国庫補助事業の採択に向けて、県、農

協、ライスセンター利用組合と施設更新を協議をしている。また、米の品質向上対策の1つとして、カメムシ被害米の対応の選別機の導入も検討している。



少年仲間づくり教室の稲刈り体験(小坂地内)

Q 夏休み中の小学校プール利用を増やせないか

A 指導員や安全監視員の確保が課題である



松浦常雄議員

問 夏休み中の小学校プールの利用が6回と少ない。新しいプールで楽しみながら体力を向上させるために回数を増やせないか。

的・自律的に生活するところに意義がある。したがって町民プールなどの活用を基本としている。

教育長

夏休みは子どもたちが学校の管理を離れ家族の計画のもとに自主

また、夏季休業中の学校プールの使用には、指導員や安全監視員の確保、スクールバスの運行などさまざまな課題があり、今年度は妥当な回数と判断して

いる。次年度以降は、いろいろと検討を進めていく。



昨年から新しくなった国見小プール

学校のトイレが臭い。改善せよ

問 学校のトイレの臭気が強く、近隣の教室にも臭いが入ってくるという。臭気を除去するためには、発生源のアンモニアを除去する必要がある。専門業者に清掃を依頼しては。

9月3日にトイレを調査したが臭いはなかった。今後、臭気が発生した時点で根本的な対策を検討する。

学校教育課長

学校のトイレの臭気が強く、近隣の教室にも臭いが入ってくるという。臭気を除去するためには、発生源のアンモニアを除去する必要がある。専門業者に清掃を依頼しては。

桃せん孔細菌病対策を急げ

問 桃せん孔細菌病の被害状況と最終的な被害額は。

産業振興課長

被害程度は一昨年ほどではない。しかし、被害は晩性種に多発する傾向があるため現時点で被害額を算出することは困難である。

問 被害を受けた農家への支援をどのように行うのか。

産業振興課長

被害を受けた農家への支援をどのように行うのか。防除費用の一部補助について予算の増額を今定例会にお願いしている。

問 せん孔細菌病を撲滅するためには、国や県の研究機関による強力な支援が

せん孔細菌病対策は産地を維持するうえで最重要課題である。7月に県の果樹研究所へ対策を要望した。その後も国の専門官が町内を調査するなど機会をとらえ積極的に対応している。

必要ではないか。

町長

せん孔細菌病対策は産地を維持するうえで最重要課題である。7月に県の果樹研究所へ対策を要望した。その後も国の専門官が町内を調査するなど機会をとらえ積極的に対応している。

あんぽ柿の検査体制は大丈夫か

問

今年のおんぽ柿は町内全域で生産が可能となった。また、生産目標が震災前の5割と増えた。検査体制は大丈夫か。

産業振興課長

昨年3月の検査機をフル稼働で対応した。しかし現時点で1、2台の配備と聞いています。隣接市町と連携し県に要望していく。

Q イベントも重要だが生活に関連した事業を

A 安全・安心、思いやり事業も実施している

問 各種の催し物への理解はあるが、生活に結びつく事業も必要では。

分野の施策に配慮している。

夏祭りに自衛隊車両があつたが

町長 大震災からの復旧復興が最重要課題である。特に「町民に心の元気を」という思いでイベントを実施している。同時に安全・安心、活力、思いやり各

問 8月9日に開催された夏祭りに自衛隊車両の展示があつたが、どのような経緯によるものか。

問 自衛隊車両は戦闘行為に使用されるものである。イベントには子供たちも参加しているが、平和を維持していくことの大事さこそ伝えるべきではないのか。

に自衛隊車両の展示があつたが、どのような経緯によるものか。

産業振興課長 夏祭りは実行委員会を組織し開催したもの。展示は実行委員会の判断と考えている。

町長 商店街はツアー参加者の自由意思にまかせ、桃狩り体験農家は40歳以下の農業者からの申し出

問 応援団ツアーの恩恵を町全体に

問 国見町応援団 ツアーでは一部の町民しか潤わないのではとの声があるが。

により選定し、協力を依頼した。

問 桃の出荷時期と重なったが、農協の共撰所へ案内してもよかつたのでは。

産業振興課長 今回は時間で実施できなかった。来年度も同様に実施する際には十分検討する。

中尊寺古代ハスをどう生かすのか

問 大枝の中尊寺 古代ハスの開花場所は国見の名所として大いに発信できるものだ。今後、町はどのようににかかわっていき

町長 「歴史まちづくり計画」の重点地区への指定などを踏まえ、阿津賀志山防塁と一体となった公園としての整備を検討していく。



浅野富男議員

産業振興課長 平和の大切さは、折に触れ、子どもたちだけにでなく、私たち皆が考えるべきものである。



店主の笑顔でおもてなし(国見町応援団ツアー)

Q 心停止に有効なAEDをどう活用していくのか

A 講習会などで使用方法を周知していく



佐藤定男議員

問

AEDが一般住民にも使用可能となつてから10年が経過した。最近の統計によれば心停止で緊急搬送された人に対するAED使用率は3・7%と低調である。まず町で管理しているAEDの設置台数と設置場所は。

設置箇所	台数
観月台文化センター [仮庁舎]	2
観月台文化センター [生涯学習課]	1
小坂農村総合管理センター	1
大木戸ふれあいセンター	1
東部高齢者活性化センター	1
森江野町民センター	1
上野台運動公園体育館	1
柏葉体育館	1
国見小学校	2
県北中学校	2
くにも幼稚園	1
藤田保育所	1
子供クラブ[旧藤田幼稚園]	1

課 住民生活

住民生活 16台を配置し、設置箇所は別表のとおり。

※AED(自動体外式除細動器)とは 心室細動により心停止した場合に、機器が自動的に解析し、必要に応じて電気的なショック(除細動)を与え、心臓の働きを戻す医療機器。動作を自動化し、一般住民でも使用できるように設計されている。

問 これまでの使用実績と、その時の具体的な対応は。

課 生涯学習

文化センターで平成10年に1件使用された。心臓発作を起こしたイベント参加者を職員がAEDによる救命措置により一命を取り留めた事例がある。

問

統計ではAEDを使用した場合は10%。その有効性を町民に啓発、周知することが課題ではないか。

そして実際の操作体験ができないと緊急時には対応できない。参加者全員が体験できるように講習会を定期的に開催すべきでは。

町長

緊急時に、AEDがどこにあるのか、どう使うのが重要である。設置場所は町のホームページや広報紙、さらに作成予定の「安全安心啓発パンフレット」で周知していく。

また、AED講習会への職員の参加や町民を対象とした講習会の実施などにより対応していく。



小学生も真剣に取り組む(国見小のキッズ防災訓練)

問

心停止で緊急搬送される患者の7割は一般家庭からだという。

より有効で効率的に利用するため、各中央集会所のAEDを消

課 住民生活

国は不特定多数の方が使用する施設に設置との考えを示している。設置箇所は公共施設のほか、町内事業所の設置状況を調査したうえで総合的に検討していく。

Q ふるさと納税者に特産農産物 贈呈の目的は

A 感謝を伝えながら多くの利点を活用したい

Q

震災後、本県には全国第2位のふるさと納税があった。プレゼント目的の納税者ばかりではなく、純粋に応援したいという気持ちの表れではないか。町ではどう考えているのか。

問

ふるさと納税を増やすには全国的なPRをすることは大切だ。しかし、町を離れたときに、この制度を活用してもらうようあらかじめ町民に

総務課長 町外向けには町のホームページ

でもある。制度を活用し町の応援団になってもらえるようにしたい。

今後、機会を見ながら随時この制度の趣旨を広報していく。

広報すべきでは。

問

ふるさと納税を増やすには全国的なPRをすることは大切だ。しかし、町を離れたときに、この制度を活用してもらうようあらかじめ町民に

問 なぜ本年度からふるさと納税者に特産農産物の贈呈を始めたのか。

興のためのまちづくりも可能となる。以上多くのメリットがあると判断し、導入に踏み切った。

総務課長 例えば10万円の人には1万円相当の特産物を贈呈するなど上限を定めている。

町長 まずはふるさと納税者に感謝

の意味を込め農産物を贈呈することが目的である。さらに風評被害対策や国見のPR、そして財源が確保され復

問 マスコミなどの報道をみるとプレゼントありきの制度になっているのでは。

プレゼントありきの制度になっているのでは。



渡辺勝弘議員



町ホームページのふるさと納税PR



※ふるさと納税とは

自分が応援したい市町村などに寄附をするもの。「ふるさと」は出身地以外でも「お世話になったふるさと」や「これから応援したいふるさと」など、それぞれの「ふるさと」を自由に選ぶことができる。

ふるさと納税の特典

(1)税金の控除

「ふるさと納税」をして確定申告をすれば所得税や住民税から寄附金控除を受けられる。

例えば、年収700万円の人が3万円を寄付すると、2000円を除く2万8000円が控除されるなど。

(2)町の特産農産物を贈呈

国見町では、町外の人が1万円以上のふるさと納税をすると、金額により町の特産農産物(桃、リンゴ、米、あんぽ柿など季節の農産物)を贈呈する。

義経がつなぐさらなる交流

岩手県平泉町議会が義経まつりに来町

9月23日、義経まつりに岩手県平泉町議会から佐々木雄一議長ほか7人の議員と青木幸保平泉町長が来町しました。

これは、国見町議会が5月に平泉町を訪れ、藤原まつりを観覧したことがきっかけです。

義経公行列や藤田宿グルメ街道などを堪能し、当町に株分けされた中尊寺ハス、西大枝地内の阿津賀志山防塁を見学しました。

また、両町議会で交流会を開催し、道の駅を含めた物産の流通などを意見交換し、さらなる交流を深めました。



義経まつり開祭式であいさつする青木平泉町長(藤田商店街特設会場)



議会交流会であいさつする平泉町議会の佐々木議長(JAみらいホール国見)



感謝状を受けた八島議長

8月1日、全国町村議会議長会長から福島県町村議会議長会長を退任した八島博正議長に感謝状が贈呈されました。

これは、東日本大震災と原発事故の被災地である本県の町村議会を代表して、全国議長の会の使命達成に尽力したことへの感謝の意を表したものです。

また、9月議会定例会の席上で感謝状が伝達されました。

県町村議会議長会長退任の八島議長

全国町村議会議長会長から感謝状



阿津賀志山防塁で記念撮影(西大枝地内)



株分けされた中尊寺ハスを見学(西大枝地内)

※一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

営業収益増と耐震化が前進

福島地方水道用水供給企業団議会

(自然の水を浄化し、水道水として国見町、福島市、桑折町など3市3町に提供する事務組合)

8月26日、企業団議会定例会が開催され、水管橋の耐震補強のための26年度補正予算の審議や25年度決算認定が行われ、2件とも可決されました。

平成25年度決算認定

◆収益的収支決算額

収入 37億9933.8万円

支出 36億6030万円

◆資本的収支決算額

収入 10億3361万円

支出 28億2499万円
(収支差引不足分は、過年度分の留保資金などで補いました)

(報告者 八島博正)

入院患者減で3年ぶり赤字

藤田病院組合議会

10月8日、第3回議会定例会が開催され、25年度決算認定1件が可決されました。

収益的収支

決算は、入院患者の大幅な減少により、3年ぶりに赤字決算となりました。

今後は患者の動向を注視し、より適切な対応が求められます。

なお、経営赤字をおぎなう特別負担金として、構成

する1市2町で1億3000万円、うち国見町で6500万円を負担しています。

◆収益的収支決算額

収入 56億6291万円

支出 57億2094万円

◆資本的収支決算額

収入 1億8691万円

支出 5億688万円

(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補いました)

(報告者 渡辺勝弘)

議会の動き(9月議会定例会以降)

9月9日 ~18日	9月議会定例会
9月9日	総務文教常任委員会
9月9日	産業厚生常任委員会
9月9日	広報編集委員会
9月13日	町敬老会
9月14日	三県交流国見町少年柔道大会開会式 市町村対抗軟式野球大会応援(福島市)
9月16日	正副議長委員長会議 議会全員協議会
9月17日	町交通対策協議会会議 議会全員協議会
9月19日	故武田勉氏叙勲伝達式
9月21日	義経まつり安全祈願祭
9月22日	農業委員会総会
9月23日	義経まつり開祭式 平泉町・平泉町議会との交流会
9月25日	東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議 大木戸支部会
9月26日	東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議 小坂支部会
9月28日	小坂地区大運動会
10月1日	教育委員辞令交付式
10月4日	くにみ幼稚園運動会
10月8日	広報編集委員会 公立藤田病院組合議会定例会
10月10日	阿津賀志学級寿祝敬老会
10月12日	町文化祭開会式、音楽芸能発表会 貝田宿・村まつり
10月16日	青少年育成町民会議役員会
10月18日	県北中学校柏葉祭
10月19日	国見小学校学習発表会
10月21日	広報編集委員会 議員懇談会 議会改革推進会議

議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は

12月9日開催予定です

手続きは、受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。

また、議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へお問い合わせ下さい。

TEL585-3295(直通)

思いやりの心で 復興を支えよう

私は議会の推薦で7月から農業委員になりました。何もわからない私が引き受けていいものか迷いましたが、女性の視点から町の農業を考えたいと思い引き受けました。

国見町は、緑豊かな自然に恵まれ、果樹や稲作、野菜が生産されています。しかし、東日本大震災と原発事故により、桃、野菜、米などに対する風評被害や町特産品であるあんぼ柿の生産自粛など大変な影響を受けました。

しかし、町も一緒になって風評被害の払拭に努めたことやあんぼ柿の一部再開などによって少しずつですが、明るいきざしが見えてきたと思います。

このままではいけないという思い、できることから前に進もうという思い、一人ひとりの考え方は違いますが、「思いやり」や「助け合い」の心をいつまでも持ち続けたいものです。

町長をはじめ役場のみなさんの復興に向けた努力に感謝しています。そして復興の第一歩として建設が予定されている道の駅が県内外からの大きな支援の輪につながることを願っています。

私たち町民も町や議会などに意見を出しながら、これからの国見町をみんなですべて支えていきたいと思えます。



佐久間 久子

(第2町内会)

義経がつなぐさらなる交流

平泉町

9月23日、平泉町議会が来町し、当町議会と交流を深めました。(詳細は18ページをご覧ください)



平泉町議会との交流会(JAみらいホール国見)

編集後記

9月5日、屋内遊び場「くにももたん広場」が開場1周年を迎え、これまで3万6000人が利用しています。これからも子どもたちが元気に遊べるように一層の安全が求められます。

9月23日「くにもの日」には義経まつりが開催され、各会場に多くの屋台が出店。特設ステージでは地元団体の生演奏、俳優の杉浦太陽さんによる義経の勇壮な武者行列などに町内外から3万5000人の大観衆が集まり大成功となりました。町民皆様の協力に感謝申し上げます。

住宅除染も2年目に入り、着実に復旧復興が進んでいます。

未来に希望のある子どもたちに美しい国見の復活を望むものです。(Y・I)

- | | |
|--------|-------|
| 議長 | 八島 博正 |
| 副議長 | 志村 良男 |
| 編集委員長 | 渋谷 福重 |
| 編集副委員長 | 渡辺 勝弘 |
| 編集委員 | 村上 晴夫 |
| 同 | 阿部 泰藏 |
| 同 | 村上 正勝 |
| 同 | 井砂 善榮 |